

緑のボランティア通信

2012.12.1

No.23

2012年度 **花と緑の交流会**

柳生博 講演会

演題 **「森と暮らす、森に学ぶ」**

・ ・ ・ 人も緑も生きものも、すべてが機嫌よく生きる知恵 ・ ・ ・

日時：平成25年1月26日（土） 12時半～14時半

会場：高津市民館（ノクティ2・12階）大ホール他

毎年、市内の公園緑地の管理や保全、花壇作りをおこなっている方や関心のある皆さんを対象に、川崎市と川崎市公園緑地協会と共催で「花と緑の交流会」を開催しています。今年度は俳優であり、「森と暮らす、森に学ぶ」（講談社刊）等の著書でおなじみの **柳生博さん** をお迎えし講演会を開催することとなりました。当日は多数の来場者が予想されますので事前に入場整理券を配布することにいたしました。お誘い合わせの上、お申し込みください。

柳生博講演会ペアチケット申込方法

往復はがきに、〒・住所・氏名・電話番号を記入し、川崎市公園緑地協会「花と緑の交流会」係宛、1月7日（月）必着で送付ください。定員200名を超えた場合は抽選とします。

柳生 博 〈プロフィール〉

昭和12年1月 茨城県に生まれる

昭和36年 今井正監督の東映映画「あれが港の灯だ」で俳優デビュー。

NHK 朝のテレビ小説「いちばん星」の野口雨情役で一躍脚光を浴びる。

NHK 「生きもの地球紀行」での出演及びナレーションで活躍。

著書 「森と暮らす、森に学ぶ」（講談社）

「じいじの森」（絵本・清流出版）

目次

| | |
|------------------------|---|
| 柳生博 講演会 | 1 |
| 2012年度「花と緑の交流会」／協会ニュース | 2 |
| 活動団体訪問・自己紹介コーナー | 3 |
| ツリー・ウォッチング | 4 |



2012年度「花と緑の交流会」

◆ まだまだ、間に合う・・・出展者・参加者 大募集！

「花と緑の交流会」は、川崎市内において緑地の保全や緑化の推進にかかわるグループが、それぞれの自主性を尊重しつつ互いに学びあうという精神を生かし、日ごろの活動の成果を広く市民に発表すると共に、これらの人々の交流を深め、また、市民と行政との協働を充実させ、緑豊かなまちづくりの実現と自然的環境資源の次世代への継承を果たす場とすることを目的として年1回開催しています。今年度も市民による実行委員会できちんと企画運営を進めまています。



* 高津中学校吹奏楽部 *



* 昨年の会場の様子 *

❁ 花と緑の交流会 Q & A ❁

Q 今から団体で参加できるものは何ですか？

A パネル展示やパネルセッションは若干余裕があります。パネルの貸し出しもしていますし、制作の支援もいたします。

Q 町会で公園の管理をしているのですが、なかなかパネルとか作る人がいないのですが・・・

A 会場にお越しただけでも他団体と交流する機会になります。お仲間と一緒にお願いします。

Q 柳生博さんの講演のほかになにかありますか？

A 大ホールでは、地元高津中学校吹奏楽部の「緑の音楽もりだくさん」や団体発表があります。

Q 花壇を作っていますが、植替えや土作りの相談が出来ますか？

A 春先の植替え用に種や土の配布コーナーがあります。花壇づくりの相談にもなりますよ。

Q 特に、緑の活動とかしていないのですが、参加できますか？

A 大歓迎です。皆さんの活動を知ってもらうことも大きな目的ですし、始めるきっかけになれば嬉しいです。

協会ニュース

募集！

◆ こども黄緑クラブ 冬 参加者募集

講師：佐々木洋（プロナチュラリスト）

内容：水と緑の生き物探し

日時：25年2月16日（土）10時～12時

集合場所：川崎市緑化センター（JR南武線宿河原駅下車徒歩5分）

対象：小学1年生～中学生とその保護者（小学3年生以上はこどもだけの参加可）

参加費：無料

申込み方法：往復はがきに、〒・住所・名前・学年・電話番号・保護者名・付添いの有無を明記し、2月1日（金）必着で公園緑地協会「こども黄緑クラブ」係まで送付ください。



川崎・多摩丘陵の里山を守る会 (2000年設立)

活動場所 末長久保台公園、久本山ターザンの木緑地、末長熊野森緑地、江戸見桜周辺（高津区末長338等）
交通案内 JR南武線「武蔵溝ノ口駅」
東急田園都市線「溝の口駅」より徒歩7分

次の世代に引き継ぎたい緑地活動・・・この会は、急速な都市化によって次々に開発される緑地を保全するために結成されました。溝の口駅南側の多摩丘陵



に連なる久本山、熊野森緑地とその周辺の斜面緑地を保全し、未来の子供たちに受け継ぐための里山ボランティア活動をしています。毎月第3日曜日午前中が定例活動日です。末長久保台公園、ターザンの木緑地、熊野森緑地を中心に、草刈、剪定、緑地整備を行っています。樹木の名称板をつけたり、草花の観察会、緑地撮影会なども開催します。



また、近くの畑で、野菜作りも学びながら、自然の中で体を動かす喜びや、農地を大切に暮らすも味わっています。春には江戸見桜の开花を見ながらフリーマーケットを開催し、杏の実を採って杏ジャム作り、初夏にはタケノコ堀、秋はお月見の会など季節ごとのおたのしみがあります。

発足から13年目、毎年春の「久保台公園まつり」にはたくさんの方々が集まり、餅つきをしたり、子供に木の葉クイズや、のこぎりで枝切り体験をしたりとにぎやかです。
(伊中 悦子)

木月花クラブ (2003年設立)

活動場所 木月公園（中原区木月 3-13-10）
交通案内 東急東横線「元住吉駅」より徒歩8分

ここは、戦後東京で焼け出された人たちの住宅地として分譲されたとき、地域の声で焼跡の一部をこどもの遊び場として残してもらった場所です。住民が増えて商店街ができ大型店舗も出店し、今では川崎で一番とも言われるブレイメン商店街より100メートル程入った公園です。訪れるこどもがどんどん増え、にぎやかな遊び場です。この公園で育ったこどもが今は親になり自分のこどもをつれて遊びに来ます。新しく住民となったマンションの方も増え、最近の日曜日は「育メン」パパをたくさん見かけるようになり時代の流れを感じます。



花壇活動は、平成15年に中原区役所の花クラブで出会ったご近所の方々と話し合い、荒れ放題の木月公園を花できれいにしたいと公園事務所に相談し、6人で始めました。今年は8名で活動しています。手入れをしている時によく声をかけられるので、すかさず「一緒にいかがですか？」と誘います。直植えですので適度に雨が降ってくれると助かるのですが、やはり真夏の水やりは大変です。

来年早々大改築が行なわれ新しい公園に生まれ変わりますが、引き続き花壇スペースが残る予定ですので遊びに来る何か所もの保育園のこども達に「お花きれい」と言ってもらえる様頑張ります。
(橋本 千枝子)



街路樹で発見! こんな変わった花の樹が!!



街路樹シリーズ(その2)。今回の街路樹は、どちらも“日本の原産”で、とても変わった花を付ける植物。実は被子植物(果実を作る植物)の、初期の“花のしくみ”を持っている貴重な植物たちなのです。

No. 18

オガタマノキ(小賀玉木・招霊の木)の街路樹

ここは川崎市立川崎病院の東側にあるオガタマノキの街路樹。オガタマノキは西日本以南に自生し、古くから神社に植えられ、神事に用いられていたそうです。モクレンの仲間は実のなる植物としてはとても古く、雄しべや雌しべが原始的。でも、とてもいい香りの花を(5~6月頃)咲かせます。

この樹は、榲の木(シラカシなど)のように、茎の節に葉が1枚ずつ付き、冬にも葉を付けている《互生で常緑樹》という樹です。



一本の木に両性を持つ花《雌雄同花・雌雄同株》



一年中葉が付いている樹《常緑樹》

川崎市立川崎病院東側

住所 川崎区新川通12 辺り
交通案内 JR「川崎駅」東口より 徒歩10分

No. 19

カツラ(桂)の街路樹



冬には葉が無い樹《落葉樹》



雄の木と雌の木が別々な木《雌雄異花・雌雄異株》



向ヶ丘遊園駅から生田緑地の入口へ続く道では、カツラの街路樹が見られます。

カツラ科は世界で2種のみ。しかも、このカツラは北海道~九州の山地に自生する日本固有種。モクレンの仲間よりは新しいタイプですが、花びらや萼(ガク)を持たない変わった花を春先(3月頃)に咲かせます。

この樹は、楓(トウカエデなど)のように2枚ずつ葉が付き、秋には落葉する《対生で落葉樹》という樹です。

向ヶ丘遊園駅南口先

住所 多摩区東生田2丁目 辺り
交通案内 小田急線「向ヶ丘遊園駅」南口より 徒歩5分

このコーナーでは、川崎市内の銘木・珍木・希少木の情報を募集します。
あなたのご近所の“地名の由来にもなった銘木”や“巨樹”、“珍しい花が咲く木”、“変わった風景の木”、“調べてほしい不思議な木”などの情報をお寄せください。取材して、このコーナーで紹介いたします。